

避難時の心得

- ラジオ、テレビで最新の気象情報、洪水情報を入手しましょう。
- お年寄りや子供は、早めに避難が必要です。
- 避難する時の荷物は必要最小限(非常食、飲料水、機中電灯、携帯ラジオなど)にし、2人以上の避難を心掛けましょう。
- 徒歩での避難を心掛けましょう。車を使っての避難には、危険を伴うことがあります。
- 避難する時は、まず水の浸からない道路へ速やかに移動しましょう。
- 洪水による水の流れが、場所によっては相当速いことが予想されます。避難時には、水の流れの速さにも十分注意しましょう。
- 村役場などからの避難の呼びかけがなくても、各人が洪水や崖崩れなどの危険を感じた場合には、自主的に避難しましょう。



土砂災害危険個所・危険区域図

土砂災害の発生時には、こんな現象が起こることもあります



◎いざという時のために、覚えておきましょう。



1時間に20ミリ以上、または 土石流は速度が速いため、日頃から家族全員で避難降り始めてから100ミリの降 土砂の流れる方向に対して 場所や避難する道順を決め雨量になったら注意が必要 直角に逃げるようにしましょう。ておきましょう。

大和村防災センター

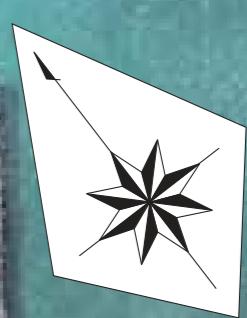
大和村体育館

大和村防災マップ

大和浜地区

我家の避難場所

大和浜公民館



◎デマにまどわされない!!

災害時は、デマなどに惑わされやすくなります。報道機関や区市町村、消防・警察などから情報に注意しましょう。

◎山崩れ・崖くずれ・津波にも注意!!

山崩れ・崖くずれ・津波が発生しそうな地域では、すばやく避難しましょう。

津波のしくみ

津波の発生



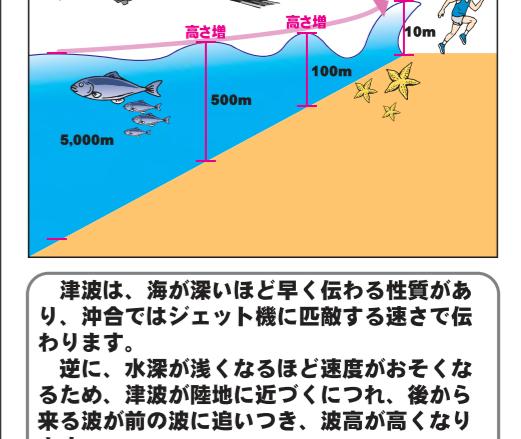
地震が発生したら、テレビやラジオ等をおいて津波情報を入手することが大切です。津波情報には、常に注意しましょう。

津波の心得

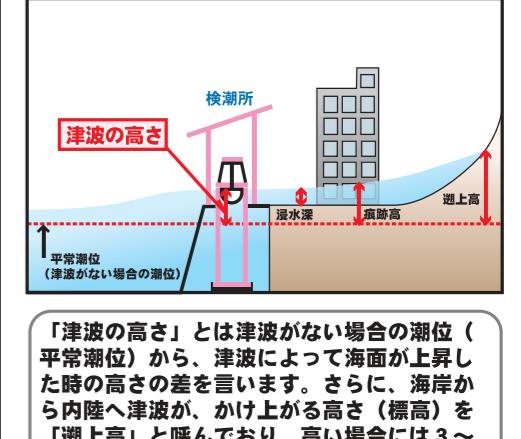
津波情報に注意する



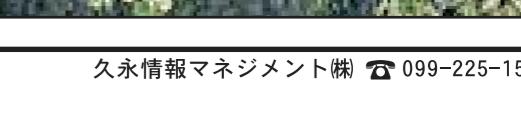
津波の速さ



津波は、海が深いほど早く伝わる性質があります。逆に、水深ではエット前で止まる速さで伝わります。



津波の週上高



凡 例	
名 称	記 号
避 難 場 所	
土砂災害警戒区域等	
土 石 流 特 別 警 戒 区 域	
土 石 流 警 戒 区 域	
急傾斜地の崩壊特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊警戒区域	
標 高 色	
10~20m	
0~10m	

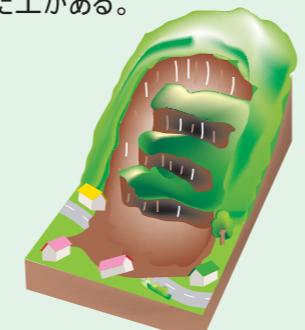
土石流危険渓流

- 渓流の勾配が急である。
- 渓流に大きな石がごろごろしている。
- たくさんの土砂が堆積している。
- 上流が山崩れなどで荒れている。
- 過去に土石流があった。



地すべり危険個所

- 過去に地すべりがあったところで、今も少しずつ動いている。
- わき水や地下水が豊富である。
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある。
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある。



急傾斜地崩壊危険個所

- 山の傾斜に亀裂やわき水がある。
- 岩石がもろく崩れやすい地質である。
- 過去に山崩れがあった。
- 山崩れがあった場所に隣り合っている。
- 急斜面で、軟弱な地盤がある。
- 水の集まりやすい斜面地形である。
- ときどき落石がある。



安全な場所に避難する



津波の高さとは津波が無い場合の海面位(平常海面)から、津波によって海面が上げられた時の高さの高さをいいます。さらに、海岸から内陸へ津波が、かけ上がる高さ(標高)を「週上高」と呼んでおり、高い場合は3~4倍程度までなることがあります。